

おおいたけん きつきし

大分県杵築市

公立病院

きつきしりつ やまがびょういん

杵築市立山香病院

杵築市立山香病院は『地域の皆様に寄り添う医療』を基本理念に、地域に愛される病院運営を目指しています。

薬剤師 業務紹介



山番病院の薬剤師は・・・

こんな現場で活躍できます！！

なんでも診られる『総合診療科医』が充実

目指せ、総合診療の薬剤師！ ジェネラリストの育成

これまで日本では、循環器内科、消化器内科、小児科、外科、整形外科、耳鼻いんこう科、婦人科など、部門の専門化・細分化により、医療の高度化や技術の向上がなされてきました。

しかし、近年、地域によっては医師不足が深刻化し、また、超高齢社会の進行によって、“なんでも診られる医師”の「総合診療医」の存在意義は年々大きくなってきています。

多くの診療科を横断的に学び、どんな患者も診る総合診療医と特定の診療科を持たず全領域の調剤・服薬指導・薬学的管理を担当する薬剤師は共通項が多いと言えます。

総合診療医が多い当院には、その指導を受けながら真のジェネラリスト薬剤師として技術を磨いていける環境があります。



小野院長
(総合診療科)

院長自らが直接指導します！

当院では、院長をはじめ多くの総合診療医師が勤務し、それぞれの診療科・看護部・リハビリテーション科・栄養科、そして薬剤科とが連携してワンチームとして地域医療を提供しています。

当院は医師と薬剤師とが常に連携を取り合えるよう、“心の距離が近くなる環境づくり”に力を入れています。医師からの直接的な指導もはもちろん、医療向上のためお互い相談しやすい空気感を感じることができます。

特に、総合診療科医の院長が、真のジェネラリスト薬剤師の育成に並々ならぬ力を入れていますので、直接指導を受けることができます。

薬剤師就職促進助成金（奨学金の返済助成制度）の充実

当院では人材不足が著しい薬剤師を確保するため、当院に薬剤師として就職する大学在学学生及び既卒者が借り入れた日本学生支援機構等の奨学金の返還額を助成しています。

○助成対象期間

市立病院に就職した日から起算して10年を経過した日、もしくは奨学金の返還が終了した日のいずれか早い日までとし、市立病院に勤務している期間とする。

○助成額 上限 50,000円/月

デジタル化の取り組み

VRや医療m a a sの導入、ドローン配送・病院DXの取り組みについて

当院では、より良い医療の提供を目指して、医療のデジタル化に取り組んでいます。

特徴的な取り組みとして、VR（仮想現実空間）を活用したリハビリの提供を行っています。また、杵築市には日本ドローン協会の研修センターもあり、ドローンを活用した活動も検討しています。デジタル診療の最先端として医療m a a sの導入も計画されています。ここ数年中には病院建設を行う予定でもあり、様々な新しい取り組みにチャレンジできます。



VR医療機器の研修

地域包括ケアシステムの先進的な取り組み現場

『医療・介護・福祉』の連携で切れ間のない支援！！

杵築市は全国的にも地域包括ケアシステムの先駆的な取り組みを実施している市であり、全世代包括支援センター『まるっと』を中心に、介護、子育て、障がい、困窮の悩みを一括で対応しています。当院でも介護との連携のため『老人保健施設グリーンケアやまが』を併設し、福祉との連携のために『地域連携室』を設置し『まるっと』との連携はもちろん、市福祉部局との多面的な連携を図るための取り組みを実施しています。

多職種との退院カンファレンスを行い、入院時の持参薬から退院処方での変更点等の情報を提供することで、退院後のアドヒアランスの向上を図っています。

新患カンファレンスやってます！ ～入院から退院を見据えた医療～

新患カンファレンスでは医師・薬剤師・看護師・リハビリ職員・相談員といった多職種が参加しています。入院患者の今後の治療方針や退院への支援に向けて情報共有を行い、更なる連携を図るため週2回の開催をしております。薬剤師は、所持薬を確認し多職種と連携し、薬剤の調整や服薬指導を行います。

こうした多職種が顔を合わせてカンファレンスを行うことで、入院したときから退院を見据えて調整できます。

近年では入院の短期化が推奨されていますので早めに退院できるように環境を整える活動も実施しています。



新患カンファレンス実施状況

がん治療・緩和ケアの取り組み

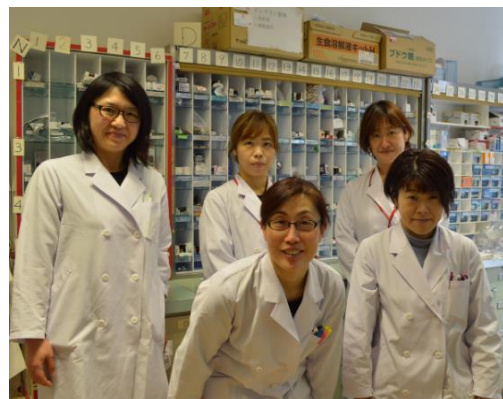
当院では多くの”がん”の手術を行っています。また、薬剤科と協働して各種がんの抗がん治療やホルモン療法を行い、がんケアの取り組みにも力を入れて取り組んでいます。がんと診断されると落ち込むこともあります。がん緩和ケアはそのような落ち込みや症状に対して、がんと診断されたときから始まります。がんの治療とともに、つらさを感じる患者に寄り添うケアに取り組んでいます。

非がんケアでは、認知症を中心に患者の家族にも寄り添い治療方針の決定や看取りの相談なども行っています。

ポリファーマシーの削減に努めています！

ポリファーマシーを解決するには、ただ処方する薬の数や量を減らせばいいというわけではありません。薬を処方する医師、調剤をおこなう薬剤師をはじめとした医療に関わるそれぞれの専門家と情報を共有することが重要です。

当院の特徴である、総合診療科が中心となって服用する薬について積極的な情報共有を行い、ポリファーマシーの削減に努めています。



薬剤科メンバー

福利厚生活動

～いろいろな部活動のご紹介～

ゴルフ部



野球部



アウトドア部



卓球部



お問い合わせ

杵築市立山香病院 事務室：宇都宮・都甲（とごう）

〒879-1307 大分県杵築市山香町大字野原1612番地1

電話：0977-75-1234

Mail：jimu@yamaga-hosp.jp